



**今月の話題：**対新型コロナウイルス対策の警告が報じられて、早や2年が経過した。この影響の最大の被害者は学生達ではないか。学習の時を失った事は取り返しがつかない。社会にとって大きな損失だ。「時を失った」事は高齢者も同様だ。特に高齢者は残余の時が限られている。改めてそれをどう生ききるかが命題となった。業務としてきた建築群はその殆どが建替え、更新されてしまった。生きた証として何が残せるか。(伊藤誠三)

### □ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・2月22日、文書によるサーツ総会を実施、議案は全て承認された。役員改選では理事の内、阿部市郎氏、泉清之氏の両理事の退任、小鹿紀英、小須田廣利両氏の新任が可決された。その後、リモートによる理事互選および理事会により、代表理事には和田章、松村秀一の両理事が、常務理事には安部重孝、小藤捷吾の両理事がいずれも全員一致で選任された。監事2名は留任です。

### □ 建築部会：(岡本直 記)

・近年、多層木造建築が注目されるなど木造の注目度が高くなっているなか、木造住宅の耐震化をテーマに、昨年から木耐WGによる活動成果を集約し、サーツの新事業化を目指して下記の内容にとりまとめた。

①3/26(土)第6回寺子屋(オンライン方式)を開催決定し、ホームページに開催案内。「木造住宅の耐震診断と補強・耐震化率100%に向けて」第1部；呉東航講師 第2部小鹿紀英講師 木造住宅の耐震補強工法を幅広くアンケート調査を行い、その結果を分析して価格、工事の容易さ、工期など特長別に編集、参加者にわかり易く解説する。②「木造住宅の耐震安全性に関するなんでも相談」をホームページに開設。寺子屋後に木造住宅の耐震性に不安な方からの具体的な相談に応えられるよう、ホームページにサーツの技術支援体制の仕組みを明確に提示した。なお、前月に速報でお知らせした中央区の耐震セミナーとして、小鹿紀英講師による「いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震による長周期地震動と備え その1~5」が中央区公式 youtube から引き続き配信中。インターネットに「中央区耐震セミナー配信中」と入力していつでも視聴可能なのでぜひご覧ください。

○次回建築部会：3月28日 17:30~19:00 ZOOM開催

### □ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

2022年2月17日(木)16時~17時30分、2月部会をZOOMのみにより開催、出席者12名。

1. 技術支援事業：・木造住宅合理化システム普及協会事務局業務は、令和3年期末の業務終了に向けて準備中。  
・タウンハウス技術支援：・GT 南桜井タウンハウス大規模改修工事支援は2月12日で20号棟まで完了、残すところ21・22号棟のみ。3月完了予定で順調に工事中。

・ウッドランド辰巳台第4回中大規模改修支援：工事完了 報告者・大江 任氏(1月報告済)

・タウンハウス稲毛：長期修繕計画支援 ・1月18日：12-1 サウンディング調査会社(恩田組)現場立ち合い及び、アンケート調査、施工見積提出、その後、サウンディング調査見積取得後、修繕委員会に提出し、1月20日了承を受けた。2月1日、12-1 サウンディング調査(5か所)実施、立ち合い。2月13日、地盤改良案と見積書(2種)、コケクリーン施工見積書を業者名義で提出した。

### 2. 調査研究事業

・「木材産業・木造建築物活性化対策として、CLT, LVL等の建築物への利用環境整備事業のうちCLT建築物等の設計者育成事業」として企画開発・設計者等のための「CLT WEB講座」2021の経過報告…

令和3年度予定であったWEB配信用建物の現地及び設計

者等の収録は全て完了した。 第三回委員会を2月10日(木)開催し、今年度事業の報告と総括を行った。

・講座申込み状況、2月12日現在、363名の受講申込み。

・令和4年3月に林野庁補助事業の各受託者の報告会が予定されている。

### 2. 令和4年度の戸建住宅部会運営体制の検討

3月11日16時より小藤常務、阿部、片岡、小須田各氏で検討会を行う。

### 3. 次回戸建住宅部会予定

令和4年3月17日(木)16時~17時30分、Zoom会議とし、会議室での参加も可とする。

### □ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・ウクライナへのロシアの侵攻は、あまりにも理不尽なやり方で困ったことですが、我々としては見守るしかありません。COP26やSDGsの議論が吹っ飛ばすほどの“エネルギー危機”と世界不況を招きかねない国際経済問題がサーツの関連業界にも迫りくるように感じます。

こういう時代に、大規模再開発事業がばく進するような建築業界の動きを、黙って見過ごしてよいのでしょうか？日本は、“COVID-19がうまく終息できず、経済活動復活が先進国中最低”だという直近のエコノミストたちの分析に一国民として心配していましたが、今回の国際情勢急変の中で、“国として大間違いしないような建築関連の政策対応”のために声を上げる必要が生じているように感じたりしています。

ウクライナで起きている戦況をしっかりと見据えた上で、熟年期に達したメンバーの多いNPOとしても何らかの情報発信をする必要を感じます。

### □ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

#### ◇マンション管理組合支援活動ワンポイント報告

定期総会も終わり、昨年度の当部会支援事業活動はコロナ禍にあって停滞気味でしたが、事業収益は目標を達成。これも関係各位のご努力の賜物と感謝申し上げます。今期も引き続き設定目標に向け、努めたいと思います。

◇「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の申請支援業務の展開状況：

①スカイビュー戸塚(国交省の「長期優良住宅化リフォーム推進事業」に大規模修繕工事を組み合わせた支援業務の第1段階の事前検討作業が昨年末終了。1月から大規模修繕工事实施設計業務と並行して次の段階の省エネ計算業務へと移行中です。

②ライオンズガーデン百合丘も大規模修繕工事で抱き合わせの「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の申請支援業務が契約目前、3年越しのプロジェクトとなりますが、新型コロナ禍や、ロシアのウクライナ侵攻により、今後の世界経済の行方が不安定な状況下で、石油供給不足に伴う建設資材や労務費の値上がりのほか、材料・部品調達の遅れなどが3年越しのプロジェクトにあっては対応が厳しいものと思われます。

### □ 建築技術誌4月号(3月17日発売) サーツ欄掲載記事

・鈴木秀治： ツーバイフォーと技能・技術者の育成

・金森捷三郎： 「総会」報告

□ 余滴：若鮎のひらめく川をひとり見し 捷三郎